Supported by 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

第3回 生活困窮者自立支援全国研究交流大会

広範なプレーヤーと共に

ー制度の見直し充実に向けて！

通信1

一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワーク代表理事からのメッセージ

包括的に支援し、課題解決につなげるために

高知市長　岡﨑誠也

全国各地から、第３回生活困窮者自立支援全国研究交流大会に参加されたみなさんを、心から歓迎いたします。

生活困窮者自立支援法が施行され、２年目を迎えました。全国各地で、地域のそれぞれの特色を生かした、多様な支援の取り組みが推進されています。生活困窮者を軸に、それぞれの地域づくりの取り組みが広がっていることを大変心強く感じています。

生活困窮者の支援は、制度や仕組みができたから進むものではなく、支援に携わる人が連携し、様々な課題を抱える人たちを包括的に支援し、課題解決につなげなくてはなりません。

この生活困窮者自立支援事業は､｢自立と尊厳｣｢つながりの再構築｣｢子ども･若者の未来｣｢信頼による支え合い｣の４つを基本視点に、生活支援体系として｢包括的・個別的な支援｣｢早期的・継続的な支援｣｢分権的・創造的な支援｣を行い、社会的自立から経済的自立へと、個々人に着目し段階に応じた支援を行うことでスタートしています。今回、第３回研究交流大会がここ川崎市で開催され、多くの関係者が集い、これらの視点に基づくそれぞれの地域での特色ある支援の経験を持ち寄り、学びあい、交流しあうことは、大変有意義なことです。

この二日間、お互いに深めあい、高めあい、交流し、そして大きな支援の輪が全国津々浦々に広がることを大いに期待しています。

次回、第４回大会は、高知市での開催が決定！来年は、高知で待ちゆうき！

参加申し込み状況

（2016年11月11日18:00現在）

参加申し込み者総数　1,033人

分科会別参加者数

◆9:30～11:45

分科会1	「雇用・地方創生と自治体の困窮者支援」	143人
分科会2	「就労・労働の新しいカタチと担い手」	228人
分科会3	「地域で共に生きる！子ども・若者支援」	192人
分科会4	「まずは安心して住むことから！―これからの居住支援と住宅確保給付―時生活支援」	216人
分科会5	「社会的自立ができない生きづらさを抱える若者がいる」	206人

◆12:45～15:00

分科会6	「高齢者問題と地域包括ケアの包括化」	161人
分科会7	「生活困窮者自立支援のススメ方・・入門編」	202人
分科会8	「自立支援のための家計相談支援活用術―めざせ必須事業！」	164人
分科会9	「生活困窮者自立支援制度におけるアウトリーチ(訪問支援)」	238人
分科会10	「神奈川の市民参加によるネットワーク型支援の課題と可能性」	155人
分科会11	「震災と地域セーフティーネット」	61人

都道府県別参加者数

（2016年11月11日18:00現在）

北海道	45	東京都	187	滋賀県	24	香川県	6
青森県	7	神奈川県	97	京都府	12	愛媛県	5
岩手県	12	新潟県	16	大阪府	60	高知県	21
宮城県	15	富山県	10	兵庫県	38	福岡県	64
秋田県	15	石川県	7	奈良県	8	佐賀県	18
山形県	6	福井県	4	和歌山県	1	長崎県	8
福島県	1	山梨県	4	鳥取県	20	熊本県	31
茨城県	7	長野県	27	島根県	8	大分県	9
栃木県	12	岐阜県	9	岡山県	9	宮崎県	9
群馬県	8	静岡県	10	広島県	5	鹿児島県	15
埼玉県	34	愛知県	31	山口県	13	沖縄県	10
千葉県	41	三重県	18	徳島県	16		

（単位：人）

歓迎セレモニーのご案内

本大会に先立ち、11時30分より、大ホールにて歓迎セレモニーとして琉球太鼓演奏を行います。演奏は、千葉県の民間の薬物及びアルコール依存症リハビリ施設の千葉ダルクのみなさんです。

千葉ダルクは、2003年に松戸市に開設し、2005年に就労プログラムを目的としたスリークォーターハウスを千葉市に開設。2016年に法人化し、現在は生活訓練施設として活動を続けています。

琉球太鼓の音色、リズムをお楽しみください。

前夜祭で

「山崎史郎さん×宮本太郎さん熱烈対談」を開催！

大会に先立ち、11月11日（金）、大会登壇者、役員、社員、関係者による前夜祭をサンピアンかわさき（川崎市立労働会館）にて開催しました。

「誰もが自立できる社会を目指して　困窮者支援・地方創生・介護保険」と題する山崎史郎さんと宮本太郎さんによる熱烈対談に、60人が集いました。アメリカの政治話も飛び出す本音トークに耳を傾けたあとは、立食形式で歓談をしながら、それぞれの困窮者支援について熱い思いを語りあいました。

本日は、お申し込みをいただいた約400人のみなさまとともに大懇親会を開催します。交流、ご歓談、そして大抽選会など、楽しい企画がもりだくさん！懇親会のもようは大会速報第2号でもお伝えします。

大会2日目 会場について

11月13日(日)は、慶應義塾大学日吉キャンパスの開催となります。
最寄り駅は、東急東横線、東急目黒線、横浜市営地下鉄グリーンライン 日吉駅です。
なお、会場は第四校舎独立館となります。
午前のセッションは９時30分から開始となりますので、お時間に余裕をもってお越しください。

生活困窮者自立支援全国ネットワーク 会員募集

「生活困窮者自立支援全国ネットワーク」は、生活困窮者自立支援法に関わる事業を担う人材のネットワークであるのみならず、すでに地域において生活困窮者支援に携わってきた人々、当事者、学識経験者などが、職種や所属等を超えて広く出会い、共に学び、共に支え合い、支援者としての資質の維持・向上や関係者間の連携の確保、あるいは関連政策の推進を図っていくことを目的としています。

制度が充実することは必要ですが、制度だけが強化されるのではなく、社会そのものが強化されることが重要です。「生活困窮者自立支援全国ネットワーク」は、人材育成と共に新しい社会創造を模索する場所として、生活困窮者支援に関わる人々が出会い、苦労を分かち合い、支え合い、学び合い、その中で新しい社会の創造への胎動が始まる場となることを期待します。

◎主な活動

（1）「全国研究交流大会」の開催
（2）支援員に対する「実践的研修セミナー（仮称）」の開催及び情報交換等
（3）行政等に対する政策提言など
（4）その他前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業

生活困窮者自立支援全国ネットワークにご入会いただいた場合は、会員特典として参加費から3,000円を会費として振替させていただき、大会参加費が7,000円となります。会員には月1回メールで生活困窮者支援の情報やシンポジウム等のお知らせをメルマガでお届けします。ぜひこの機会に会員にご加入ください。※すでに会員の方は、大会参加費より今年度の年会費として年会費3,000円を振替させていただきます。

会員申し込みについては、生活困窮者自立支援全国ネットワークホームページをご覧ください。

●生活困窮者自立支援全国ネットワーク
http://www.life-poor-support-japan.net/

学割のご案内

ご要望にお応えして、大会参加費に学割を設けました。当日受付カウンターで学生証をお見せいただければ、一般参加費10,000円のうち3,000円を返金いたしますので、学生の方はぜひご利用ください。

ブース出展のご案内

大会両日、会場内では書籍販売ブースを設けております。生活困窮者支援を中心とした書籍などが一堂に会する絶好の機会ですので、休憩時間などにぜひお立ち寄りください。

<出展一覧>
中央法規出版株式会社
社会福祉法人全国社会福祉協議会
株式会社明石書店
NPO法人全国コミュニティライフサポートセンター

編集後記

第1回大会で好評をいただいた大会速報を、今年も発行することとなりました。第2号は、2日目の受付にて配布予定です。どうぞお楽しみに！

（文責　事務局編集部）